

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 自然ゆたかな郷土の家in庄内

グループの名称 ビートルネットワーク

直近採択グループ番号 ---

(グループ代表者)

代表者名	佐藤 正紀	代表者印
代表者所属先	有限会社 サト-建築事務所	
代表者所在地	山形県酒田市東両羽町5-28	
代表者電話番号	0234-21-6455	

(グループ事務局)

事務局事業者名	和以美 株式会社 酒田営業所	
事務局担当者名	佐藤 雅	印
事務局郵便番号	998-0823	
事務局所在地	山形県酒田市卸町4-4	
事務局電話番号	0234-23-0183	
事務局FAX	0234-23-0184	
事務局担当者E-mail	m.sato@waibi.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	自然ゆたかな郷土の家in庄内
2. グループの名称(必須)	ビートルネットワーク
3. 直近採択グループ番号(必須)	--
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県
5. 結成年(必須)	2018 年
6. グループ代表者名(必須)	佐藤 正紀
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社 サトー建築事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県酒田市東岡羽町5-28
9. グループ代表者電話番号(必須)	0234-21-6455
10. グループ事務局事業者名(必須)	和以美 株式会社 酒田営業所
11. グループ事務局担当者名(必須)	佐藤 雅
12. グループ事務局郵便番号(必須)	998-0823
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県酒田市卸町4-4
14. グループ事務局電話番号(必須)	0234-23-0183
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0234-23-0184
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m.sato@waibi.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	6	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
		山形県産木材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内
	山形県産集成材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうちやまがた県産材集成材	1	国内	
	山形県産材合板	山形県	やまがた県産材合板認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		10棟		
				1500㎡			
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
						㎡	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		事務局に物件が寄せられた日を基準に先着順とする。					
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型							
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡		

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ.Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					
	Ⅷ-					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 自然ゆたかな郷土の家in庄内	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ビートルネットワーク	(結成年) 2018年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	鳥海山、最上川、日本海、庄内平野と自然豊かな地域における四季折々の気候に適応した断熱性能、気密性能、通気性能と安心、安全を確保する耐震性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏季の省エネルギーに資する通風の確保 冬季の省エネルギーに資する日射熱の取入れ	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏場の日射の影響を緩和する為に軒の出を出来るだけ大きくする	○
④①～③の背景	庄内地区は鳥海山、出羽三山、最上川、庄内平野、日本海があり自然豊かな地域です。日本海に面する沿岸部で海洋性気候の特徴を持ち、多雨多湿で冬季には北西の季節風が強く吹雪く事もあるので、一年を通じて快適に生活できる環境を求めたい	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	今後の建築業界の変化に対応して行く為にグループ間のネットワークを活用し切磋琢磨する 今後のストック型社会を見据えて住宅の履歴情報の蓄積及び管理やリフォーム技術の習得とリフォーム施策へ積極的に取組む	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材やサッシについては基本的には仕様を統一し、高性能な商品を使用する	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: サッシは樹脂製とし、断熱材は繊維系、発砲プラスチック系など高性能な商品を使用する	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内の規約により個別に設定する	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 着工予定の物件情報を事務局に集中し、建材・資材については各構成メンバーとの連携で確実な納入を確保する	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が関連業者と情報を共有して商品の安定化を図る	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 運営委員会を設置し、代表・事務局も加わって定期的に情報交換及び生産の合理化について検討し、さらに得られた情報や決定事項については事務局を通じて各構成メンバーに伝達する	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は木材関連事業者・流通事業者から木材・建材・設備等に関する情報を収集して設計・施工メンバーに情報提供すると共に設計・施工メンバーからは施工物件に関する情報を取得し、木材関連・流通メンバーへ協力を依頼する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地盤調査(必須)に基づく基礎の選定から始まり、構造や断熱施工に関する分かりやすい基準を作成して施工メンバーに周知する。施工様にもお渡しできる体裁のものとする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造検査、断熱検査は必ず実施し、施工様にも立会いを求めて『立会い確認書』へ署名を戴き、その確認書は事務局に写しを保管する。また、必要箇所の写真もお渡しする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 地域型住宅に関する共通見積書を作成し施工業社名と一緒にグループのロゴを印刷。積算に関しても共通のデータベースを設定し標準化を図る。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ホームページを立上げて現場情報や施工事業者の情報、その他のグループの取組等を紹介する。工事現場においてはグループののぼりや看板の設置を行う。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工様との契約期日もある為、工程管理をしっかりする事で週休2日制を実施する	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能や経験にふさわしい賃金形態がとれるように取組む	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各メンバーに社会保険への加入を促す	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 定期的な健康診断の実施と現場作業前の安全確認(KY運動)の実施	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	フラット35を利用できる事を積極的にアピールし金融機関と連携し手続き等のサポートを行う ファイナンシャルプランナーとの繋がりもある為、新築・リフォーム問わずに家計の見直し段階からサポートし施工様に最も良い条件で建築して頂ける道筋を作る	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 自然ゆたかな郷土の家in庄内	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ビートルネットワーク	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は『おうちあんしん24』登録の履歴情報をサービス機関と提携して30年間の履歴情報の蓄積・管理をルールとする	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『おうちあんしん24』登録の履歴情報サービス機関を利用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中に維持管理担当を置き、履歴情報の登録・蓄積が適切に行われているかチェックする	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『インスペクション・ガイドライン』に基づきながら『長期優良型住宅化リフォーム推進事業』のチェックシートを利用する	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の規約のもとに共通ルールを作成する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中に維持管理担当を置き、点検補修等が適切に行われているかチェックする	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主様に対し定期的に『住まいの情報誌』をお届けし、お手入れの仕方や住まい方の情報を提供する	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主様に対して定期的にリフォームに関わる情報提供や木工体験などを実施する	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回程度、OB客向け相談会を開催し困りごとなどへの対応をする	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会の中に維持管理担当を置き、履歴情報の登録や点検等が適切に行われているかチェックする	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を通して施工業者に通知する。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 担当事業者が廃業の止む無きに至った場合には、代表および事務局が施主様に事業を説明し適切な代替事業者をメンバー内より紹介し、継続的な維持管理を行う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社に依頼し実施していく	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		点検については事業者自身が実施することが困難な場合は、点検代行サービスを利用するものとする	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿型、高度省エネ型共に未経験工務店が多いので研修会等の開催は必須であるグループ採択前にも行う必要があり現場が出てきたら適切な段階で現場研修を実施する	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり勉強会(研修会)等を行う	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がグループメンバーに対して書面の提出等、現地確認等を行う	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 運営委員会においては受注予定物件の情報と資材調達の情報に常に照らし合わせてより合理的な需給計画の策定方法を探っていく	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となりグループで省エネ基準、耐震基準、断熱気密の施工方法・その他の勉強会を行う	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種の各メンバーは事務局と、またメンバー相互に連絡を取り合い需給関係の改善とコストダウンへの工夫を重ね、その内容を事務局を通じて共有化する	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 4
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 4	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講事業者に対して事務局より開催時期等の情報を提供し、早期の受講を促す	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新しい工法や技術がたくさん出てきているので運営委員会の中で話し合っメンバーの中から代表者を選び講習会等に参加してもらい、各メンバーに報告・検証する	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体として実証実験等を取り組む	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		認定低炭素住宅からゼロ・エネ住宅への進化を早期に実現する為に研修における内容を一次エネルギー消費量の算定方法などへも拡張し、また長期優良住宅に関しても一次エネルギー消費量を算定し、その結果を施主様にお渡しすると共に、事業者にも参考としてもらい、ゼロ・エネ化への動機づけとする。また、ストック型社会への対応として、『長期優良住宅化リフォーム推進事業』への応募を支援し、性能向上リフォームへグループとして取り組んでいく	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 自然ゆたかな郷土の家in庄内	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ビートルネットワーク	(結成年) 2018年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造部並びに2次部材に地域材(山形県産材、合法木材)を使用する
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材供給事業者より在庫量、供給可能量をグループメンバーに提供する
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材供給事業者よりコスト情報をグループメンバーに提供する
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の供給に関しては、県産材・合法木材ともに問題はないと考える。今回の事業を通して、需要の拡大を図る
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30枚
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 60坪 2棟
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 24枚 3棟
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 12枚 3棟
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 瓦屋根の提案、外壁を杉材貼を採用する提案
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 洋風・和風を問わず、床の間・仏間を設ける
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 酒田市は、昔、北前船の寄港地として栄え、現在も旧家などが数多く残っているので新築・リフォーム・洋風・和風に関わらず地元の伝統的なデザインを取入れる
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 単世帯だけではなく、二世帯など親子が同居できるように勤める
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 基本的に街並みに合わせて洋風・和風を検討・推進して街並み形成へ寄与する
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 洋風・和風を問わず、和の空間やスペース・家具等を取入れる
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	近年、大手ハウスメーカーの地方進出により外観のデザイン優先の建物が多く建っているためグループとしてはデザイン重視ではなく代々維持・継続して使用できる丈夫で長持ちする安心して快適に住まえる住宅を地元へ供給していきたい
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	地域型住宅の関連で、被災地で生産される材料・製品の利用が可能か検討する
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	東日本大震災の復興に資する取組同様に、地域型住宅の関連で、被災地で生産される材料・製品の利用が可能か検討する

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 自然ゆたかな郷土の家in庄内	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) ビートルネットワーク	(結成年) 2018 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴</p> <p>※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。</p> <p>※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度省エネ型については、住宅本体の性能の向上と同時に、建材・設備関係の平均的な性能の向上が図られるべきと考える。そうした視点から、より高性能な建材・設備の利用を促進していく。具体的には、経産省の補助事業「高性能建材導入促進事業」で対象となる断熱材・サッシや省エネ対象となる設備機器の採用を推進する。 ・具体的性能としては <ul style="list-style-type: none"> ①耐震性 <ul style="list-style-type: none"> ・長期優良住宅 建築基準法の1.5倍 ・認定低炭素住宅 建築基準法の1.25倍 ・リフォームの場合 $I_w \geq 1.1$以上 ②断熱気密性 <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性 UA値Ⅲ地域 0.56 ($w/m^2 \cdot k$)以上 ・気密性 C値 Ⅲ地域 1.5 ($c m^3/m^2$)以下 <p>以上を当グループの最低の基準と位置付けし、より高性能化を求める。</p> ・維持保全計画や履歴情報の蓄積・活用の必要性は長期優良住宅にとどまるものではなく、地域型住宅として建設されるすべての住宅に適用されるべきものとする。したがって当グループの高度省エネ型では、30年間の維持保全計画の作成、30年間の履歴情報の蓄積・活用を必須とする。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

グリーン化事業適用申請書(様式3).xls の互換性レポート
2018/5/29 11:46 に実行

このブックで使用されている次の機能は、以前のバージョンの Excel ではサポートされていません。このブックを以前のバージョンの Excel で開くか、以前のファイル形式で保存すると、それらの機能が失われるか、正常に実行されなくなる可能性があります。

機能の大幅な損失

出現数

このオブジェクトは編集できなくなります。

1

[様式3-3!1:39](#)

バージョン

Excel 97-2003